

令和8年度 清新中学校の教育

教育理念

教育は、理論に裏打ちされた理想を掲げ、その実現に向けて実践する営みである。清新中学校における教育の営みは、生徒一人ひとりが自己有用感をもち、豊かな人間関係を築き、学ぶことの喜びを醸成し、生きることのすばらしさと感動を体感させることである。

そのために、学習指導要領が示すところにより、教師自ら研鑽し、生徒を激励・援助するとともに、常に創造的なチャレンジを怖れずに創意工夫のある、『未来につなぐ教育』を展開していく。

学校教育目標

心豊かな人 共に学ぶ人 進んで活動する人

- 互いに尊重し 思いやる心と感動する心をもった人になる
- 夢と希望をもって共に学び たくましく生きる人になる
- 人と協調して自ら行動し より良い社会を築く人になる
- 人や自然とふれあい 郷土を愛する人になる



めざす生徒像・教師像・学校像

□めざす生徒像(清新中学校区の小学校と共有)

- ・物事を深く考えられる人(深く考える力)
- ・自らの思いや考えを行動に起こせる人(思いや考えを行動にする力)
- ・困難に屈せず課題の解決に挑める人(自分に負けない力)

□めざす教師像

- ・生徒の人権を大切にし、生徒・保護者に寄り添い、共に考え、共に成長していく教師
- ・さらなる成長のために、謙虚に学び、創意と情熱をもって授業改善に取り組む教師
- ・今日的な教育課題にも柔軟に対応し、解決に向け努力する教師

・多様な子どもたちの「深い学び」を確かなものにできる教師

- ・失敗や変化を恐れず、より良い学校文化の創造に向け挑戦する教師

□めざす学校像

- ・「みんなが楽しく通える魅力ある彩り豊かな学校」

持ち味の違う一人一人が 自分の色を自由に出しながら
お互いの生き方を尊重し合い 周りの人と協力しながらも
自分のペースで 安心してのびのびと過ごせる学校

- ・多様性を尊重し、すべての人が価値のある存在だと大切にされる学校
- ・生徒の姿を組織的に把握し、生徒の声を聴き取り、認め励ます教育を展開する学校
- ・それぞれの集団が機能し、安定した集団の中で一人一人が成長できる学校
- ・清新中学校の歴史と伝統を大切にし、教師・生徒が一丸になって教育活動に取り組む、意欲と活気のある学校
- ・地域・保護者の声を聴き取り、信頼され、応援される開かれた学校

義務教育9年間で培う力(近隣小学校と共有)

- | | |
|---------------|------------------------|
| ○深く考える力 | → 論理的思考力・問題解決力等の育成 |
| ○思いや考えを行動にする力 | → コミュニケーション力・社会参画力等の育成 |
| ○自分に負けない力 | → 克己心・他者との調整力・再起動力の醸成 |



義務教育9年間で培う力育むために

これからの時代は、目の前で生じている課題から目をそらさず、その解決に向けて自ら進んで情報や知識を収集・整理・分析し、更には他者と協働しながら様々な実践を繰り返すなどして、新しい答えや価値を生み出していこうとする粘り強さが求められています。

生徒たちが自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会の創り手となっていくためには、様々な事象を自分事として捉え、不得意な分野であっても困難を克服しながら生涯にわたって主体的に学び続けていこうとする力を基盤に、深く考え、「変われる」「変えられる」と信じて多様な他者と協働しながら、自分の持ち味を発揮し、勇気をもって一歩踏み出す力が大切です。

清新中学校では、これらの力を育成するために、学校の指導体制の根幹に、「授業の充実」、「安定した学級づくり」、「生徒指導・支援体制の充実」の3点を据えて教育活動を展開し、生徒たちが将来にわたって自らの行動を律していこうとする自己指導能力、自らの希望や夢を叶えていこうとする自己教育力を育んでいきます。

(1)授業の充実に取り組む(学習指導力の向上)

- ・生徒の学習課題を把握し、その改善に向けて適切な対応がとれる学校
- ・教科担任として学習課題を工夫するなどし、当該の教科を嫌いにさせない学校
- ・多様な子どもたちの「もっとやってみたい」「もっと知りたい」といった好奇心や探究心を触発させ、基礎・基本の定着はもとより、次の新たな学びに繋がりをもたせ、学びに向かう力を高められるようたえず授業改善が図れる学校

(2)安定した学級づくりに取り組む(集団経営力の向上)

- ・所属感や、集団の中で受け入れられ、必要とされているといった自己有用感を感じ、多様な他者と協働して物事に取り組む楽しさが実感できる学校
- ・「自治の力」を育み、生徒自身が「生徒が主役」を実感できる学校
- ・開発的な生徒育成プロジェクトを機能させ、物事を自分事として捉え、思いや考えを伝えあいながら話し合い、物理的にも心理的にも安心して安全に過ごせる集団作りのできる学校



(3)生徒指導・支援体制の充実に取り組む(生徒支援力の向上)

- ・多様性を尊重し、一人一人の意欲を高め、可能性を開花させるために、支援が必要な生徒に必要な支援を組織的にできる学校(校内教育支援センター・国際級・サポートルームの充実)
- ・生徒の悩みを把握し、解決に向け組織的に動ける学校(教育相談・いじめアンケートの実施)
- ・だれもが安心して学校生活が送れるよう、迷惑行為については、自身の行動による周囲への影響について想像させながら反省を十分に促し、適切な手段を講じる中で、迷惑行為を起こした生徒自身もより良い人生が送れるよう、生徒の失敗や過ちを大切にしながら、生徒のリスタートへの適切な援助を施すことができる学校
- ・生徒の人権を大切にしながら保護者や外部機関と連携して組織的に指導・支援し、一貫した指導・支援理念をもちつつも、教師の言動が生徒にどう受け止められるか想像力を働かせながら指導にあたり、その効果が出ているのかが検証され、必要に応じて方針の見直しを柔軟に図り、組織で動ける学校

教師が生徒と意欲的・活動的に関わることのできる環境づくりに向けて

- ・校内、校外の研修や校内研究の充実を図り、教員としての力量や同僚性を高める
- ・教師がお互いの経験や知見を出し合い、より効果的な教育活動を実践する
- ・働き方改革を推進し、教職員が生徒と向き合う業務に集中できるようにする